

オズール クオリティレポート

パシフィックサプライ株式会社 Vol.9

2017年2月

いつもオズール製品をご愛用くださりまして誠にありがとうございます。
 オズール製品をお客さまに安心して長くお使いいただきたく、オズール クオリティレポートを発行いたします。
 実際の製品の破損事例をピックアップし、オズール社テクニカルマネージャーからのアドバイスと共に皆さまへお届けします。
 皆さまと共に、エンドユーザーさまの3ライフ（生命・生活・人生）に寄り添い、製品の品質向上へ努めてまいります。

適切なフレックスフットの選択について

フレックスフットには様々なバリエーションがあり、幅広い使用者のニーズを満たすことができます。しかし、誤った選択をすると、機能を十分に発揮できなかつたり、破損や故障、異音の原因となることもあります。安全にお使いいただくための重要なポイントをご紹介します。

1.活動度(義足に加わる衝撃)が重要!!

装着者さまの活動度に適切な足部を選択することがとても重要です。
 オズール製品は以下の設定になっており、義足に加わる衝撃という意味で「衝撃の程度」と表現します。



弱い

日常生活における活動は穏やかな一定速度の歩行であり、杖などの歩行補助も併用する。
 例：家の周りを移動する、近隣をゆっくりと歩く。



中程度

一般的な非切断者と同じように歩く。いろいろな速度での歩行もできる。
 例：買い物に出かける、屋外でも自信をもって歩行できる、通勤する。



強い

日常的に早く歩く、長い距離を歩く、ジョギングする、階段を頻繁に上り下りする。
 例：重量物の持ち上げ、運搬、肉体労働、趣味でのスポーツ、1日1万歩程度歩く。



きわめて強い

走行やトラック競技、長距離走などの活動をする。
 例：陸上の短距離走や幅跳びなど。

2.正確な体重も重要!!

義足に加わる衝撃と同じく大切なのが「正確な体重」です。
 最も多い破損原因のひとつが「誤った体重による選択」です。
 装着者さまからの自己申告ではなく、体重計にのっていただき、一緒に体重の確認をしていただくようお願いいたします。

裏面に続く...

オズール クオリティレポート

3. 構造的高さにも配慮!!

構造的高さの低い足部もラインナップされていますので、床～ソケット下端の距離が限定された場合でも、最適な選択ができます。

構造的高さの配慮について：低活動の場合



フレックスフットバランス



ウレタンブロックでソフトなロッカー機能を再建できます。主に室内のみで歩行される方、杖や歩行器を常用される方、大腿義足で固定膝継手を使用される方におすすめできます。構造的高さが低く、取り付け空間の制約が少なく済みます。



バランスフットJ



かかとをカーボンではなくウレタンにしているため、初期接地～荷重応答期が楽になります。高さがあるのでメインモジュールのエネルギー蓄積～放出効果を充分得られます。アシュアではかかたが硬く感じられる方、トータルニーなどバウシング膝を使用される方におすすめできます。



アシュア



室内から家の近所を杖などで歩行できる方に向く低活動用足部です。かかたがカーボン製ですので、トータルニーとも相性が良い足部です。メインモジュールはバランスフットJ同様、フレックスフットらしいエネルギー蓄積～放出効果が得られます。



アンビシャス



アシュアを使用したいが、構造的高さの問題で使えないケースに最適です。いわば“アシュアのLP版”といえる足部です。低衝撃足部では唯一ウェッジを使用でき、かかとの硬さを調節することができます。廉価なものも魅力的です。

ワンポイントアドバイス！

衝撃度は年齢で決定できるのか？ については注意が必要です。

あくまで年齢は参考程度です。具体的な活動の内容～趣味や習慣、生活環境などをうまく聞き出して、適切な衝撃度を選択しましょう。



スーパー
HIROSHI